

2025年 1月27日
京成電鉄株式会社

さらなる安全性・快適性の向上へ
新形式車両 3200形 デビュー!!
2025年2月22日(土) 営業運転開始予定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、新型車両の「3200形」の営業開始に向けた各種試験を終了し、2025年2月22日(土)に営業運転を開始します。

この車両は『人や環境にやさしいフレキシブルな車両』をコンセプトに、フレキシブルに編成車両数を変更できる車両とすることで、輸送需要に見合った効率的な走行エネルギーの使用により環境負荷が低減されるように設計された車両です。

外観デザインでは京成車両の伝統である赤と青のカラーリングを踏襲し、京成電鉄の車両としてお客様に永く親しんでいただけるデザインとしています。また、連結運転時に常時通り抜けが可能な構造とするため、正面貫通扉を中央に配置しました。車内設備では、当社として初めて車内非常通話装置と防犯カメラ装置を連動させることで、緊急時に乗務員が迅速に対応できるほか、各車両に車いすスペースまたはフリースペースを設けました。さらに最新の半導体を使用したSiC-VVVF制御装置を搭載することにより、当社3500形車両と比較して電力消費量を約69%削減します。

以上

○3200形外観



○車内写真



○フリースペース

